

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 7つの習慣 | リーダー・イン・ミー

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

リーダー・イン・ミー

「リーダー・イン・ミー」

米国のABコムス小学校では、児童と教職員全員が「7つの習慣」を学んでいる。この小学校では世界のトップリーダーたちが長年自己啓発に活用してきたリーダーシップ原則を、教育の柱にすえ子どもたちへのリーダーシップ教育として定着させた。その手法の原則や期待されるメリットをまとめた本が「リーダー・イン・ミー」である。

導入の経緯は校長に就任したばかりのミュリエルが、コヴィ博士の主催したセミナーに出席したことから始まる。当時のコムス小学校はマグネット・スクールの資格（何らかの特色を売りにして、本来の学区外からも生徒を集めることができる）をもつ学校だったが、残念ながら強力なマグネット（磁力）もなく人気がないので児童があまり集まらなかった。学区の教育長から根本的な見直しを求めらたミュリエル校長は、教職員や児童の親や地域社会の指導者たちにも相談し「リーダーシップ」を新しいテーマとすることに決めた。こうして、「子ども一人ひとりをリーダーに育て上げる」という新しいミッション・ステートメントが生まれた。

ミュリエルはセミナーで学んだ「7つの習慣」の要点を、子どもたちにわかりやすく説明するために次のようにまとめた。

第1の習慣：主体的である

私は責任感の強い人間である。率先して行動する。自分の行動、態度、気分は自分で決める。自分が犯した過ちを他人のせいにはしない。自分の意思以外で怒ることはない。

第2の習慣：終わりを思い描くことから始める

前もって計画を立て、目標を設定する。有意義かつ効果的なことをする。クラス内で重要な役割を担い、学校のミッションやビジョンに貢献しており、良き市民になることを目指している。

第3の習慣：最優先事項を優先する

もっとも重要なことに自分の時間を使い、すべきでないと思うことにはノーと言う。優先順位を決め、スケジュールを組み、計画を実行する。自制心を発揮し、皆と歩調を合わせる。

第4の習慣：Win・Winを考える

勇気を出して自分が欲しいものを手に入れるだけでなく、他人の願望も考える。他人の「信頼口座」に預け入れをする。意見が対立するときは第3の案を模索する。

第5の習慣：まず理解に徹し、そして理解される

他人の考えや気持ちに耳を傾ける。相手の立場に立って物事を眺める。相手の話を最後まで聞く。自信を持って自分の意見を述べる。相手の目を見て話す。

第6の習慣：シナジーを創り出す

他人の長所を認め、自分も身につける努力をする。考え方の異なる人ともうまく付き合う。他人と協力し合う。自分だけでやらず、他人と連携するほうが効果的であることを認識し、問題解決に際しては他人の意見を求める。常に謙虚さを忘れない。

第7の習慣：刃を研ぐ

適切な食事、運動、睡眠によって健康に気を配る。家族や友人と過ごす時間をつくる。学校だけでなく、いろいろ

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

な方法、いろいろな場所で学ぶ。他人を助ける効果的な方法を見つけ出す。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.